

サステナビリティビジョンとマテリアリティ

ツムラグループにおける「サステナビリティ経営」とは、「サステナビリティビジョン」の体現に他なりません。

自然の恵みである生薬を活かす事業を進化させ、未来へつなげていく私たちだからこそ、自然環境の変化や危機に最も敏感な企業でなければなりません。そして、自然の恵みを最大限に活かし、人々の健康と医療に貢献し続けること——サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」にはその想いが込められています。漢方バリューチェーンを通じて、持続可能な人間・社会・地球環境の実現を目指します。生薬はもとより水・空気に至るまですべてを自然に戻す、当社グループならではの循環型社会に向けて取り組んでいきます。

究極的に成し遂げる事業の志「一人ひとりの、生きるに、生きる。」を掲げ、経営理念「自然と健康を科学する」を標榜する当社グループのサステナビリティビジョンは、長期経営ビジョンを通じて具体的な活動に落とし込まれています。

長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」は「“Cho-WA”（調和）のとれた未来を実現する企業へ」をテーマとし、3つの“P”を通じて、心と身体、個人と社会、漢方医学と西洋医学の“Cho-WA”（調和）のとれた未来を目指しています。

マテリアリティの見直し

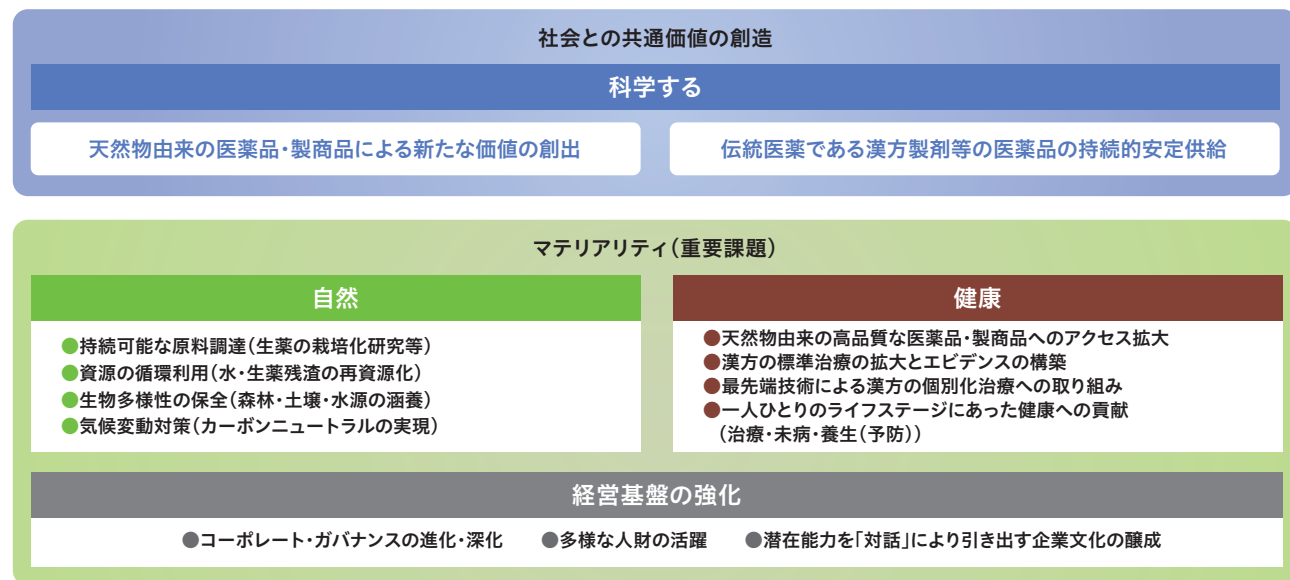
当社グループは、事業活動を通じて地球規模の課題解決に貢献し、企業価値の向上を実現するために、2023年9月にパーパスを起点とした重要課題（マテリアリティ）を特定し直しました。

今回の見直しは、これまでのボトムアップ型の策定プロセスから、CEOのコミットメントに基づくトップダウン型に変更することで、社会価値・経済価値の創出に向けたストーリーを社内外にわかりやすく伝えることを目的としています。今後は、マテリアリティを軸とした情報開示を進めることで、ステークホルダーとの対話と共創を促進していきます。

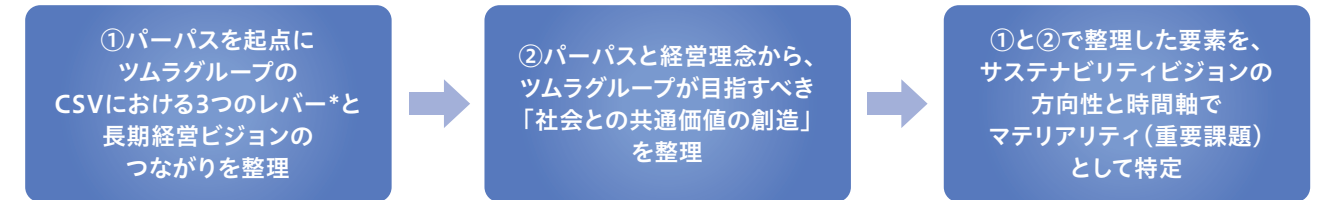
サステナビリティビジョン —— 自然と生きる力を、未来へ。

ツムラグループの新マテリアリティ

ツムラグループのマテリアリティ（重要課題）は、パーパス「一人ひとりの、生きるに、生きる。」、経営理念「自然と健康を科学する」の体現に向けた事業への取り組みそのものを指します。当社グループの事業から創出される「自然」と「健康」に関わるすべての価値は、社会との共通価値の創造につながります。



新マテリアリティの策定プロセス



* 経営学者マイケル・ポーターが提唱するCSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)を実現する3つの方法(レバー)のこと(①次世代製品・サービス創造、②バリューチェーン全体の生産性改善、③地域生態系の構築)

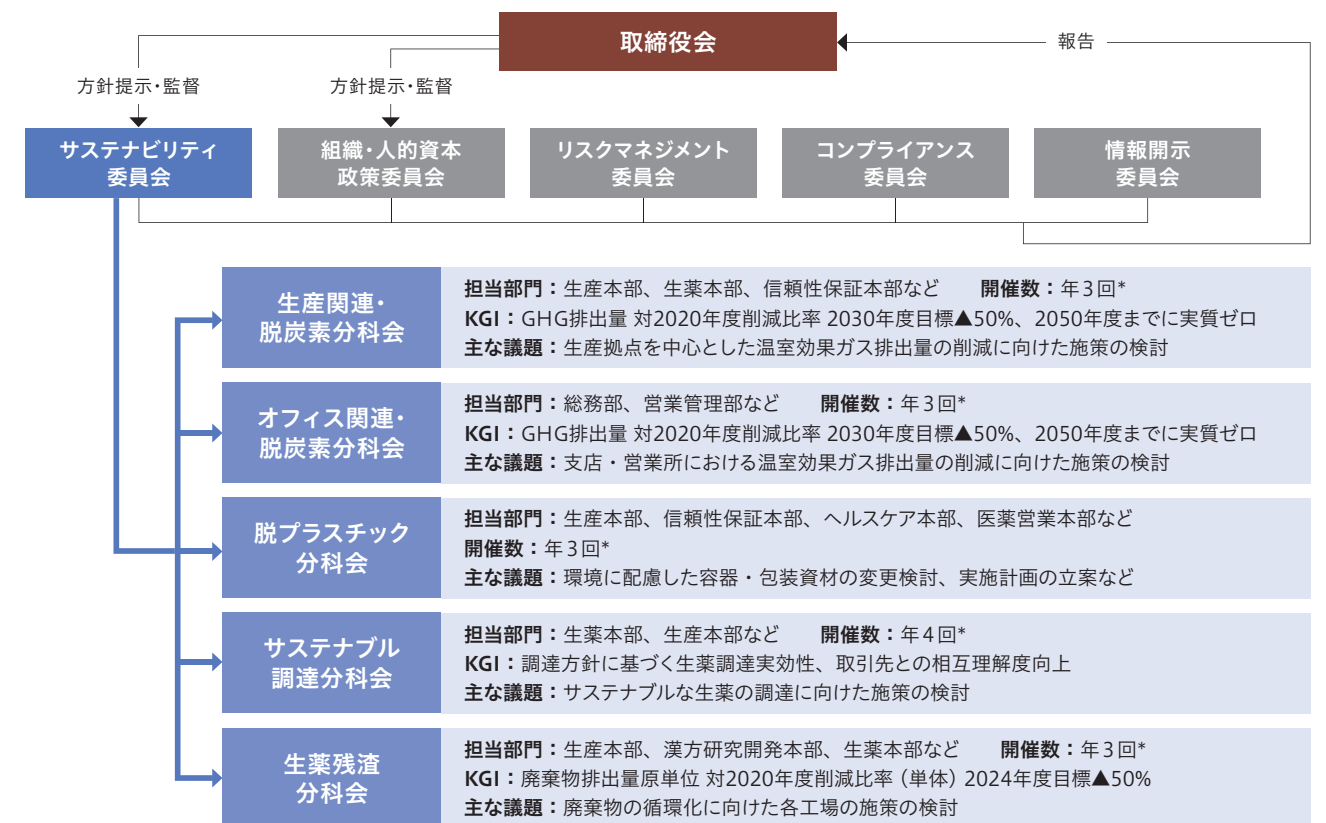
サステナビリティ推進体制

気候変動等の地球環境問題への配慮、人権の尊重等、サステナビリティに関する課題への対応は、重要な経営課題であると認識しています。取締役会直下のサステナビリティ委員会では、このような課題を具体的な戦略に反映すべく、全体の方向性や活動等を検討、モニタリングを行うとともに、委員会配下に5つの分科会を設置し、中長期環境目標等に基づいた各本部の知見や経験、研究成果を部門横断的に検討しています。また、審議の活性化に向けて、各分科会の成果を委員長（杉井Co-CEO）に定期的に報告する機会を設けるなど、サステナビリティ活動の実効性を高めています。社会環境の変化や時代の要請を

踏まえて柔軟に対応することで、実効的なサステナビリティ活動を追求・推進していきます。

サステナビリティ委員会の主な議題(2022年度)

- ・TCFD開示案の審議・承認
- ・サステナビリティ憲章の策定
- ・中長期環境目標の進捗報告
- ・マテリアリティ更新に向けた議論のほか、各種イニシアチブへの賛同報告やCDPの結果報告、地域貢献活動の報告など

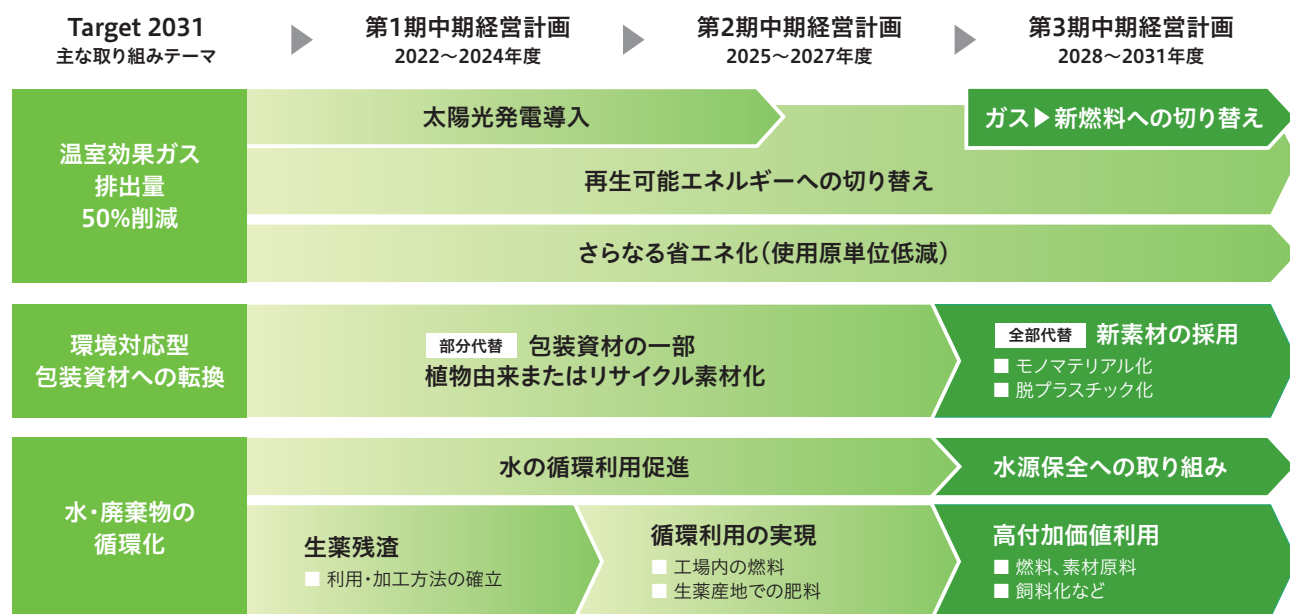


*2022年度実績

マテリアリティと経営戦略KGI/KPI



サステナビリティ・ターゲット2031



社会課題解決への取り組み

#OneMoreChoice プロジェクト

ツムラは、誰もが不調を無理に我慢することなく、心地よく生きられる健やかな社会を目指し、2021年から#OneMoreChoice プロジェクトを進めています。

自社調査に基づく課題解決に取り組んでおり「女性の8割が隠れ我慢*7をしている」「違いを知ることからはじめよう」というメッセージとともに実施した活動は、生活者の方々からSNSを中心に多くの共感の声をいただきました。また社内では、隠れ我慢のない企業を目指して「#OneMoreChoice アクション」を2022年4月に施行。休暇制度変更など、社員の健康課題を解決する取り組みも進めています。

これらの活動を通して培った知見を、隠れ我慢のない社会の実現に活かすため「#OneMoreChoice 研修」を開発し、2022年9月から無償提供を開始しました。当社社員が講師として企業・団体や大学等へ出向き、これまでに16回*8実施しています。2023年4月からは、大学生が隠れ我慢をしない環境づくりを目指した取り組みである「Carellege Action」*9を4大学からの賛同を得てスタート。無料で専門家に健康相談できる機会の提供なども始めています。

今後も、企業や大学等と連携しながら活動の輪を広げ、社会課題解決に取り組み健やかな社会の実現に向けて活動を進めていきます。



*7: 隠れ我慢とは、心身の不調を我慢して仕事や家事を行うこと。株式会社ツムラの登録商標です *8: 2023年7月時点
*9: Carellege (ケアレッジ) は、当社によるCareとCollegeの造語です